

特記仕様書

令和8年度 県道観音寺池田線 猪ノ鼻トンネル防災設備保守点検業務

1. 点検整備の目的と考え方

猪ノ鼻トンネル防災設備については、設備を長期にわたり安全かつ確実な運用を確保することにある。しかしながら、対象となる設備の規模や内容、さらには設置条件(屋外・屋内・固定形・移動形)等によって要求される信頼性の水準が異なるため、点検にあたっては、これらの諸条件を考慮した適正な点検基準(点検項目点検周期等)が、適正されるべきである。

2. 点検基準(点検項目・点検周期)について

点検項目については、専用の測定器を使用して装置全体もしくは、システム全体としての性能や動作状況を把握するために、必要最小限もしくは、システムの停止を行って実施し、品質の劣化不具合等、変化の程度を定量的に取得できる項目とする。(点検内容・項目は別紙の通り)
点検周期については、技術の進歩・機器のデジタル化及び運用形態の変形に伴い、機器本体の信頼性は向上しているのが現状であるが、一方ではシステムやネットワークの高度化により設備の重要性は年々高まっており、このような環境の中で設備の故障は致命的となる。したがって、内的要因(熱劣化・可動部分の劣化等)や外的要因(設定場所や環境状況の変化等による劣化)による電氣的・機械的な摩耗や変化は不可避であるため、長期にわたり安定に運用を確保するためにも12ヶ月点検とする。

3. 提出資料

点検の実施に当たり、請負者は事前に点検員・作業日程・作業内容等を取りまとめ主任監督員に提出すること。また、関係機関への連絡または、申請書の提出は請負者が行うこと。

4. その他

契約期間中、臨時点検が必要な不具合が発生した場合、監督員の指示に基づき速やかに不具合等の原因調査、報告及びその場で修理可能な軽微な作業を行なうこと。ただし、それ以外の機器の修理が必要になった場合は監督員と協議すること。

この仕様書に定めのない項目等については、発注者と請負者が協議して定めることにする。

猪ノ鼻トンネル防災設備点検基準

香川県

西讃土木事務所

徳島県

西部総合県民局 県土整備部 三好庁舎

点検内訳数量表

設備名	機器名称	数量	単位	備考
防災設備	主制御装置	2	台	徳島県側、香川県側
	警報表示板	2	面	徳島県側、香川県側
	押ボタン式通報装置	18	台	
	消火器	32	本	
	非常電話	7	台	
	非常電話案内板	58	枚	
	通報装置説明板	18	枚	
	非常電話説明板	7	枚	
	誘導表示板	6	枚	
	計	89	枚	
遠方監視制御設備	受信制御機	2	台	香川県西讃土木事務所 徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>
	モ二夕一盤	1	面	三好警察署
	監視盤	1	面	香川県西讃土木事務所

点検実施要領

1. 制御装置（2台）

No.	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法	使用測定器等	点検目的の概要等	備考
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ		原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
3	送受信信号出力の確認	送受信信号の送信レベル、受信レベル、最低受信感度及び送信周波数を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 送信レベル -15dBm~0dBm 受信レベル -35dBm~0dBm	レベル計、 周波数カウンタ、 発信器		
4	蓄電池の点検	蓄電池電圧を各セル毎に点検し、標準値以内であることを確認する。	テスタ	メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は均等充電不要。標準値は試験成績書を確認する。 メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は除く。 メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は除く。アルカリ用、鉛用の保守用器具は混用しないこと。 メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）のみ確認する。	
		蓄電池の液面をセル毎に点検し、適性値にあることを確認する。なお、不足の場合は補水する。			
		蓄電池の比重及び液温をパイロットセル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	比重計、 温度計		
		蓄電池の比重及び液温をパイロットセル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	インピーダンス計		
5	動作の確認	機側操作	制御操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(1)	副制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		遠方制御(2)	受信制御装置操作で各表示項目を起動し、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。		
		調光動作	昼間、夜間の輝度調整機能が正常に動作することを確認する。		
		解除動作	試験モードスイッチ等の扉閉による自動復帰が正常であることを確認する。		
		故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常であることを確認する。		
		雷サージ保護機能	雷サージの保護機能を目視にて確認する。		
		インバータ電圧	インバータの出力電圧が規定値であることを確認する。 ±10%以内	テスタ	
通話試験	制御装置と受信制御機間及び制御装置と副制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障ない程度であることを確認する。		原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。		
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	絶縁抵抗の確認	絶縁抵抗を測定し基準値以内であることを確認する。 絶縁抵抗：10MΩ以上	絶縁抵抗計 (500Vメガ)		
8	接地抵抗の確認	接地抵抗を測定し基準値以内であることを確認する。 接地抵抗：100Ω以下	接地抵抗計		
9	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。			
10	機器の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		周囲環境を考慮した機能維持	

2. 警報表示板（2面）

No.	確認事項の概要	作業の実施範囲・具体的方法	使用測定器等	点検目的の概要等	備考	
1	表示部の確認	表示部を確認し、不点の表示素子は交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ			
3	見え方の確認	表示板前方から樹木等の障害がなく表示情報が判読できることを確認する。				
4	動作の確認	機側操作	制御装置または副制御装置から表示項目、サイレン及び注意灯動作の指令を受け正常動作することを確認する。			
5	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。				
6	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。				
7	表示部の汚損状態確認	表示部を清掃し、明瞭に判読できることを確認する。				周囲環境を考慮した機能維持
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。				

3. 押ボタン式通報装置（18台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であること 測定結果の変化傾向の把握を確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ		
3	絶縁抵抗の確認	回路ごとに絶縁抵抗を測定し、基準値以内であることを確認する。 絶縁抵抗：1.5MΩ以上	絶縁抵抗計 (250Vメガー)		
4	フレキシガラスの破損等の確認	フレキシガラスの破損、変改、脱落等の有無を確認する。			
5	消火器の確認	消火器本体、安全栓、ホース等の外観を確認する。			
6	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			

4. 非常電話機（7台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示灯の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
3	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		周囲環境を考慮した機能維持	
4	通話試験	全ての電話機において、全指定連絡先（警察、消防、道路管理者等）との通話試験を実施する。		装置の正常動作の確認	

5. 非常電話案内板（58台）、通報装置説明板（18台）、非常電話説明板（7台）、誘導表示板（6台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。		標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	板の清掃等	板の外表面を清掃する。		機器の汚れ等を清掃し、埃等の付着及び錆などないこと。	

6. 受信制御機（2台）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ	測定結果の変化傾向の把握	原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
3	送受信信号出力の確認	送受信信号の送信レベル、受信レベル、最低受信感度及び送信周波数を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば調整する。 送信レベル -15dBm~0dBm 受信レベル -35dBm~0dBm	レベル計、 周波数カウンタ、 発信器		
4	対モニタ盤送信電流の確認	送信電流を測定し、基準値以内であることを確認する。基準値以外であれば基準値に調整する。 電流 20mA以下 線間電圧 100V以下 対地電圧 50V以下	テスタ		
5	蓄電池の確認	蓄電池電圧をセル毎に点検し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	テスタ		メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は均等充電不要。標準値は試験成績書を確認する
		蓄電池の液面をセル毎に点検し、適性値であることを確認する。なお、不足の場合は補水する。			メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は除く。
		蓄電池の比重及び液温をパイロットセル毎に測定し、標準値以内であることを確認する。なお、充電が必要な場合は均等充電を行う。	比重計、温度計		メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）は除く。
		蓄電池の内部インピーダンスをセル毎に測定し確認する。	インピーダンス計		メンテナンスフリーの蓄電池（MSE等）のみ確認する。
6	動作の確認	受信制御機から制御して、表示板、サイレン及び注意灯が正常に動作することを確認する。			
	故障表示動作	回線断、機器故障、ヒューズ断等の故障表示試験を行い、正常に監視できることを確認する。			
	通話試験	受信制御装置と制御装置間で通話試験を行い、雑音及び漏話が通話に支障ないことを確認する。			
	転送機能	モニタ盤への転送機能が正常であることを確認する。			
7	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
8	据付状態の確認	据え付け状態を点検し、緩み等がないことを確認する。		周囲環境を考慮した機能維持	
9	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			
10	図書類・予備品等の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する。		障害時の備え	受信制御機に接続されている各トンネル関係も含む。
		予備品類の保管状態・数量等を確認する。			

7. モニター盤（1面）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。ランプ切れの場合は予備品と交換する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	電源電圧等の確認	チェック端子等で各部電圧等を測定し、基準値以内であること 測定結果の変化傾向の把握を確認する。基準値以外であれば調整する。 定格電圧±10%以内	テスタ		原則として調整しない。調整する時は調整前の数値を記録すること。
3	受信電流の確認	受信電流を測定し、基準値以内であることを確認する。 電流 20mA以下 線間電圧 100V以下 対地電圧 50V以下	テスタ		
4	蓄電池の確認	蓄電池電圧を点検し、標準値以内であることを確認する。	テスタ		基準値は試験成績書を確認する。
5	動作の確認	制御装置及び副制御装置から警報動作等を行い、モニター盤で監視表示が正常に行われることを確認する。			
	警報表示動作 停電動作	交流入力を強制遮断して、40分間、動作が正常であることを確認する。	ストップウォッチ		
6	接続部の点検	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
7	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
8	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。		周囲環境を考慮した機能維持	

8. 監視盤（1面）

No.	確認事項の概要	点検内容及び判定基準等	使用測定器	点検の目的等	備考
1	表示部の確認	表示ランプを点灯し、球切れの場合交換する。交換後正常であることを再確認する。		装置の正常動作の確認 標準値（規定値）との照合 測定結果の変化傾向の把握	
2	動作の確認	制御装置及び副制御装置から警報動作等を行い、監視盤で監視表示等が正常に行われることを確認する。			
3	接続部の確認	接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。			
4	据付け状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。			
5	機器本体の清掃等	機器本体の内外面を清掃する。			周囲環境を考慮した機能維持

トンネル非常警報装置 [受信制御機]

設置場所		西部総合県民局 県土整備部(三好)			
機器名	点検項目		点検月日	令和 年 月 日	
			天 候		
受 信 制 御 装 置	1	表示灯点灯		良 ・ 否	
	2	電源電圧等の測定		良 ・ 否	
	3	送受信信号出力測定		良 ・ 否	
	4	蓄電池の点検		良 ・ 否	
	5	動作試験		表示制御	良 ・ 否
				警報制御	良 ・ 否
				停電操作	良 ・ 未
				通話試験	良 ・ 否
	6	接続部の点検		良 ・ 否	
	7	機器の清掃等		機器等の清掃	実施 ・ 未
		据付状態点検	良 ・ 否		

トンネル非常警報装置 [受信制御機]

点 検 項 目		点検月日	令和 年 月 日		
		点検基準	天候		
受信制御機	電 圧 測 定	交流入力	AC 100V ±10%	V	
		制御部出力	DC 24V ±10%	V	
			DC 5V ±10%	V	
			DC 24V ±10%	V	
			DC 24V ±10%	V	
		バッテリー電圧	DC 24V +4V・-2V	V	
	DC 24V +4V・-2V		V		
	送受信信号測定	送信レベル	0 ~ -15 dbm	dbm	
		受信レベル	祖谷TN	0 ~ -35 dbm	dbm
			京上TN	dbm	
			龍宮TN	dbm	
			井川TN	dbm	
			猪鼻TN	dbm	
	最低受信感度	-40 dbm以上	dbm		
回線電流測定	三好警察署	DC20mA±3mA	mA		
	東祖谷総合支所		mA		
	西祖谷詰所		mA		
備考					

トンネル非常警報装置 [受信制御機]

設置場所		西讃土木事務所		
機器名	点検項目		点検月日	
			天 候	
受信 制 御 装 置	1	表示灯点灯	良 否	
	2	電源電圧等の測定	良 否	
	3	送受信信号出力測定	良 否	
	4	対モニタ盤送信電流の確認	良 否	
	5	蓄電池の点検	良 否	
	6	動作試験	表示制御	良 否
			故障表示動作	良 否
			通話試験	良 否
			転送機能	良 否
	7	接続部の確認	良 否	
8	据付状態の確認	良 否		
9	機器本体の清掃等	実施 未		
10	図書類・予備品等の確認	良 否		

トンネル非常警報装置 [受信制御機]

点 検 項 目		点検月日		
		点検基準	天候	
受信制御機	電圧測定	交流入力	AC 100V ±10%	V
		制御部出力	DC 24V ±10%	V
			DC 12V ±10%	V
			DC -12V ±10%	V
			DC 12V ±10%	V
			DC 5V ±10%	V
	蓄電池	蓄電池充電電圧	DC 13V ±10%	V
		蓄電池停電電圧	DC 13V ±10%	V
		送信レベル	0 ~ -15 dbm	dbm
	送 受 信 信 号 測 定	受信レベル	0 ~ -35 dbm	dbm
		最低受信感度	-40 dbm以上	dbm
備考				

トンネル非常警報装置 [モニター盤]

設置場所		三好警察署	
No.	点 検 項 目	点検月日	
		天	候
1	表示灯点検	良	否
2	電源電圧等の測定	良	否
3	蓄電池の確認	良	否
4	動作試験	警報表示	良 否
		停電動作	良 否
		ブザー動作	良 否
5	接続部の点検	良	否
6	機器の清掃等	機器等の清掃	良 未
		据付状態点検	良 否
7	電圧測定	交流入力	AC 100V ±10% V
		制御部出力	DC 5V ±10% V
			DC 12V ±10% V
			DC 24V ±10% V
		バッテリー充電電圧	DC 26.8V ±10% V
		バッテリー停電電圧	DC 24.0V ±10% V
8	受信電流測定	回路電流	20mA ±3mA mA
備考			

トンネル非常警報装置 [主制御装置]

設置場所		猪ノ鼻トンネル 徳島県側				
機器名	点検項目		点検月日			
			天候			
主 制 御 装 置	1	表示灯点灯		良	否	
	2	電源電圧等の測定		良	否	
	3	送受信信号出力測定		良	否	
	4	蓄電池の点検		良	否	
	5	動作試験	機側操作		良	否
			遠方制御		良	否
			調光動作		良	否
			解除動作		良	否
			故障表示動作		良	否
			雷サージ保護機能		良	否
			インバータ電圧		良	否
			単独試験		良	否
	5	動作試験	通話試験		良	否
6	接続部の確認		良	否		
7	接続部の確認		良	否		
8	接地抵抗の確認		良	否		
9	据付状態の確認		良	否		
10	機器の清掃等		実施	未		

トンネル非常警報装置 [主制御装置]

設置場所		猪ノ鼻トンネル 香川県側		
機器名	点検項目		点検月日	
			天候	
主 制 御 装 置	1	表示灯点灯	良 否	
	2	電源電圧等の測定	良 否	
	3	送受信信号出力測定	良 否	
	4	蓄電池の点検	良 否	
	5	動作試験	機側操作	良 否
			遠方制御	良 否
			調光動作	良 否
			解除動作	良 否
			故障表示動作	良 否
			雷サージ保護機能	良 否
			インバータ電圧	良 否
			単独試験	良 否
			通話試験	良 否
	6	接続部の確認	良 否	
7	接続部の確認	良 否		
8	接地抵抗の確認	良 否		
9	据付状態の確認	良 否		
10	機器の清掃等	実施 未		

トンネル非常警報装置点検記録簿（猪ノ鼻トンネル）

点 検 項 目			点検月日	
			天候	
主制御装置・表示板（徳島側）	電 圧 測 定	交流入力	AC 200V ±10%	V
		交流出力	AC 100V ±10%	V
		インバーター出力	AC 100V ±10%	V
		非常電話表示灯	AC 100V ±10%	V
		TIB電源電圧	DC 26V ±5%	V
		制御出力電圧	DC 24V ±5%	V
			DC 5V ±5%	V
			DC 12V ±5%	V
		送 受 信 信 号 測 定	送信レベル	0 ~ -15 dbm
	受信レベル		0 ~ -35 dbm	dbm
	最低受信感度		-40 dbm以上	dbm
	送信周波数 M		1650Hz ± 10Hz	Hz
	送信周波数 S		1850Hz ± 10Hz	Hz
	主制御装置・表示板（香川側）	電 圧 測 定	交流入力	AC 200V ±10%
交流出力			AC 100V ±10%	V
インバーター出力			AC 100V ±10%	V
非常電話表示灯			AC 100V ±10%	V
TIB電源電圧			DC 26V ±5%	V
制御出力電圧			DC 24V ±5%	V
			DC 5V ±5%	V
			DC 12V ±5%	V
送 受 信 信 号 測 定			送信レベル	0 ~ -15 dbm
		受信レベル	0 ~ -35 dbm	dbm
		最低受信感度	-40 dbm以上	dbm
		送信周波数 M	1650Hz ± 10Hz	Hz
		送信周波数 S	1850Hz ± 10Hz	Hz
備考				

トンネル非常警報装置点検記録簿 (猪ノ鼻トンネル)

蓄電池							
機器名	電池番号	単電池電圧 点検基準 6V±2V	内部インピーダンス 点検基準 10mΩ以下	電池外観	判定		
主制御装置 (徳島側)	1	V	mΩ	良 否	良 否		
	2	V	mΩ	良 否	良 否		
	3	V	mΩ	良 否	良 否		
	4	V	mΩ	良 否	良 否		
備考							
蓄電池							
機器名	電池番号	単電池電圧 点検基準 12V±2V	内部インピーダンス 点検基準 10mΩ以下	電池外観	判定		
主制御装置 (香川側)	1	V	mΩ	良 否	良 否		
	2	V	mΩ	良 否	良 否		
	3						
	4						
備考							

機器名称 非常電話案内板(58枚)、通報装置説明板(18枚)、非常電話説明板(7枚)、出口誘導表示板(6枚)

設置場所 猪ノ鼻トンネル

No.	点検項目	点検内容及び判定基準等	判別
1	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
2	板の清掃等	板の外面を清掃する。	
	備考		

機器名称 非常電話機(7台)

設置場所 猪ノ鼻トンネル

No.	点検項目	点検内容及び判定基準等	判別
1	表示灯点検	表示ランプを点灯し、正常であることを確認する。	
2	据付状態の確認	据え付け状態、緩み等がないことを確認する。	
3	機器の清掃等	機器等の内外面を清掃する。	
4	通話試験	電話機において、指定連絡先(警察、消防、道路管理者)との通話試験を実施する	
	備考		

トンネル非常警報装置 [警報表示板]

設置場所		猪ノ鼻トンネル			
機器名	点 検 項 目			点検月日	
				天 候	
警報表示板 (徳島側)	1	表示部点検			良 否
	2	電源電圧等の測定	DC 26V ± 10%	V	良 否
			DC 5V ± 10%	V	良 否
			DC 12V ± 10%	V	良 否
			AC 100V ± 10%	V	良 否
	3	見え方の確認			良 否
	4	動作の確認			良 否
	5	接続部の確認			良 否
	6	据付状態の確認			良 否
7	表示部の汚損状態の確認			良 否	
8	機器の清掃			良 否	
	備考				

トンネル非常警報装置 [警報表示板]

設置場所		猪ノ鼻トンネル			
機器名	点 検 項 目			点検月日	
				天 候	
警報表示板 (香川側)	1	表示部点検			良 否
	2	電源電圧等の測定	DC 26V ± 10%	V	良 否
			DC 5V ± 10%	V	良 否
			DC 12V ± 10%	V	良 否
			AC 100V ± 10%	V	良 否
	3	見え方の確認			良 否
	4	動作の確認			良 否
	5	接続部の確認			良 否
	6	据付状態の確認			良 否
7	表示部の汚損状態の確認			良 否	
8	機器の清掃			良 否	
	備考				

トンネル非常警報装置 [押ボタン通報装置]

設置場所		猪ノ鼻トンネル	
No.	点 検 項 目	点検月日	
		天	候
1	表示灯点検	良	否
2	動作試験	良	否
3	消火器の点検	良	否
4	接続部の点検	良	否
5	機器の清掃等	機器等の清掃	実施 未
		据付状態点検	良 否
備考			

入力電圧測定	端末押ボタンNo.	点検基準	測定電圧
主制御装置(徳島側)回路	L-5	DC 24V ± 10%	V
	R-9	DC 24V ± 10%	V
主制御装置(香川側)回路	L-3	DC 24V ± 10%	V
	R-1	DC 24V ± 10%	V
備考			

絶縁抵抗測定 測定回路名		点検基準	測定値
押ボタン回路	主制御装置(徳島側)回路	DC 250Vメガ 1MΩ以上	MΩ
	主制御装置(香川側)回路	DC 250Vメガ 1MΩ以上	MΩ
備考			

猪ノ鼻トンネル 消火器点検表

(消火器)

	点検項目	点検内容及び判定基準	点検結果及び処置・対策	判定
1	収容数点検	消火器の収容数量の確認(収容数32本)		
2	外観点検	消火器の損傷、発錆、汚染等の有無		
3	清掃	ウエス、洗浄剤により消火器表面の清掃を行う。		

No.	製造日	薬種	本数	備考
R-1				
R-2	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-3	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-4	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-5	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-6	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-7	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-8	2024年	ABC粉末6kg	2本	
R-9	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-1	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-2	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-3	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-4	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-5	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-6	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-7	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-8	2024年	ABC粉末6kg	2本	
L-9				